



総合福祉センター

地域づくり協議会とは……
 ・地域協働、地域づくりの中心となる組織
 ・多様な主体による公共サービスの提供（実行）を総合的、包括的にマネジメント
 ・支援の受け皿となり、活動を総合調整
 ・自ら課題を発見し、解決方法を企画

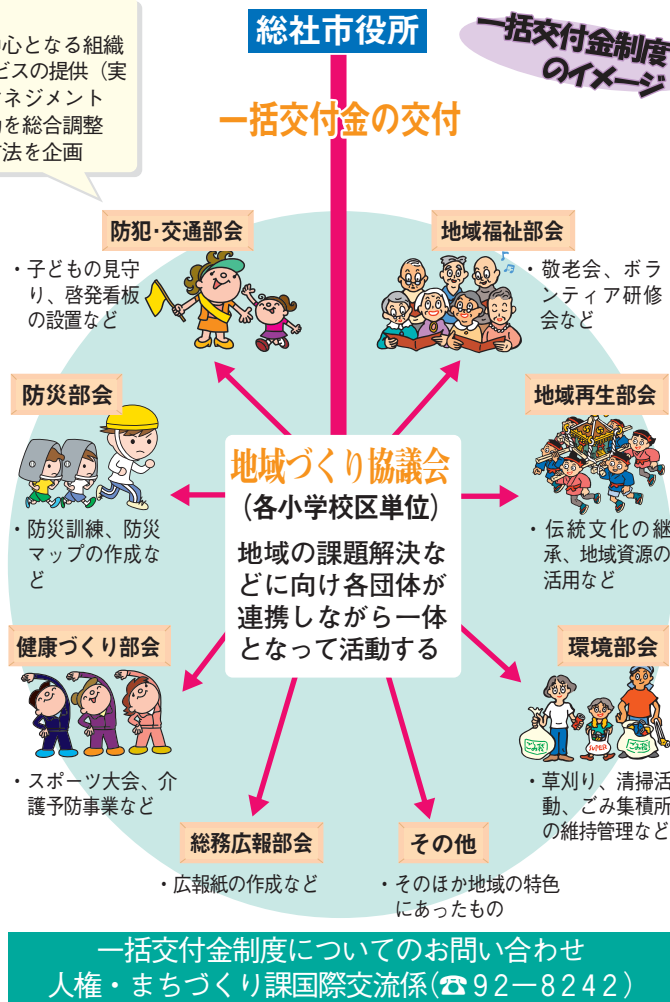
地域が一体となったまちづくりを目指すためには、地域づくり協議会と自治会・町内会などそれぞれの団体の役割や責任を明確にし、連携を図ることが重要です。今後は、この制度の周知徹底や地域づくり協議

ガラス張り公開市長室では一括交付金制度以外に、そうじゃ吉備路マラソン、



昭和公民館

会と地域に合った分野ごとの部会の設立などを支援するため、積極的に各地域で説明会を行っています。



西公民館。多くの人が詰めかけた

今年度のガラス張り公開市長室では、総社市が取り組む重要施策を説明。特に来月4月から導入予定の「一括交付金制度」について重点的に示しました。意見交換のなかでもこの

新しいしくみに関する質問が最も多く、7件。市長は、「みんなで力を合わせ、地域が自立し、それぞれ個性をもってやっていく制度。交付金は市民が平等に恩恵を受けられるよう、人



7月2日から31日までに、市内6会場でガラス張り公開市長室を開催しました。全体で延べ約700人が参加。69件のご意見やご提言をいただきました。なかでも新たな補助金制度「一括交付金制度」について、どの会場でも活発に意見交換されました。今後この制度の導入により、総社市の仕組みが「行政主導型」から地域がさまざまな団体と連携し自ら考え行動する「市民自立型」に変わっていきます。

口比例を基本に配分していきたい」と話しました。
一括交付金制度の理解深まる
 一括交付金制度は、地域住民が自ら参加、協働して地域の課題を解決し、特色を生かした魅力あるまちをつくっていく活動の財源を



清音公民館

交付するものです。現在、環境や防犯、防災など、それぞれの活動ごとに分かれている補助金を整理統合。各地域の人口規模や道路・水路の延長などを基に算定した金額を交付します。
 交付の対象となる団体は、小学校区単位を基本に組織する「地域づくり協議会」。防災や防犯・交通、福祉、環境、健康づくり、地域再生など地域の実情に応じて分野ごとに部会を設置し、地域の課題解決などに向け一体的に取り組ま

総社のしくみが変わる

ガラス張り公開市長室で
一括交付金制度の理解深まる



山手公民館

運転免許証を自主返納した人への雪舟くん利用券交付対象者の拡大

運転免許証を自主返納した65歳以上の人で「おかやま愛カード」を取得した人が申請することで、30回分の雪舟くんの利用券を交付していますが、交付対象者を次のとおり拡大します。

変更前 平成24年4月1日以降に「おかやま愛カード」を取得した人

変更後 平成23年4月1日以降に「おかやま愛カード」を取得した人

新たに雪舟くんの利用券交付対象となった人は、申請の際には「おかやま愛カード」を必ず持参してください。なお、詳細な手続きなどは人権・まちづくり課までお問い合わせください。

問い合わせ 人権・まちづくり課安全安心係 (☎92-8249)



おかやま愛カード
 運転免許証を自主返納した65歳以上の人は申請すれば、警察から協賛店の商品の割引などのサービスが受けられる「おかやま愛カード」が交付されます



東公民館

付対象者を拡大することにします。(左に関連記事)
 今回のガラス張り公開市長室でいただいた意見、提言などは、市のホームページで発言趣旨と答弁の概要を公開します。参加していただきました皆さん、ありがとうございました。